

1

あいあい

2

いりょう
医療センター

3

たいがんじ
太巖寺のフジ

4

そうごうかんきょう
総合環境センター

5

にしの こうえん
西野公園

6

のむらいちりづか
野村一里塚

7

じおんじ
慈恩寺

8

あのだ おどり
阿野田かんこ踊

9

ながせ じんじゃ
長瀬神社

10

このうみち
金王道

11

えのじんじゃ
江神社

12

おおなぎじんじゃ
於々奈気神社

13

みつでらし しまい
三寺獅子舞

14

てんじんこうえん
天神公園

15

くすびら おさとやま
楠平尾里山

16

おしやまじんじゃ
忍山神社

17

ふけしししまい
布気獅子舞

18

やました こふん
山下古墳

19

たいこうじなわて
太岡寺啜

20

おのじょうせき
小野城跡

21

めいはんせきかめやまこうぎょうだんち
名阪関亀山工業団地

22

サンシャインパーク

23

こくぞう
虚空蔵さん

24

しょうぼうじさんそうあと
正法寺山荘跡

25

はぐるやま
羽黒山

26

すずかのせきあと
鈴鹿関跡

27

ひがしのおいわけ
東追分

28

せきじゅく
関宿のまちなみ

29

にしのおいわけ
西追分

30

びーあんどじーかいよう
B & G 海洋センター

31

ささがひらこふん
笹ヶ平古墳

32

たいらのすけもりでんしょうち
平資盛伝承地

33

しゃくじょうだけ
錫杖岳

34

かぶ とじょうせき
鹿伏兎城跡

35

しんりんこうえん
森林公園

<p>やきゅうじょう たいくかん 野球場や体育館、プールなど があり、亀山市では一番はじめ にできた運動公園です。</p>	<p>ゆた しぜんかんきょう まも 豊かな自然環境を守るために亀 山市内から出るさまざまなおみ を処理するとともに、環境について 学ぶことができます。広さは5.5 ヘクタールあり、2000年に完成 しました。1,800℃の高温でゴミ を溶かして1日80tのごみ処理 ができます。とかした金属はリサ イクルしています。</p>	<p>りきし 今から、150年くらい前に力士 の「明星ヶ岳」が強い力士となる ことわがう つた 事を願って植えたと伝えられます。 毎年5月ごろに見事な花をさかせ、 たくさんの人が見物におとずれま す。</p>	<p>しみん びょうき 亀山市民のさまざまな病氣や けがをなおしたり、予防をする やくわり 役割があります。</p>	<p>そうごう ほけんふくし 「亀山市総合保健福祉センター」 が正しい名前ですが、親しみや すい名前として「あいあい」と よんでいます。子どもセンター や白鳥の湯があります。</p>
<p>せきちょうふるまや すずか しきしおかちょう 関町古厩から鈴鹿市岸岡町ま とお で通っていたとされる山道で、 1160年に源義朝のけらいの渋 谷金丸が、義朝が殺されたこ とを京都に伝えるために通った ことから「金王道」と呼ばれる ようになったと伝えられます。</p>	<p>すかうちちょう じんじや 管内町にある神社で、1100年 ほど前に書かれた「延喜式」とい う本にある「長瀬神社」があつた 場所ではないかと言われています。</p>	<p>あま 今から700年くらい前に雨ご いのためにはじめられたと伝えら れ、現在でも毎年、10月に地区 と亀山神社で踊ります。市の無形 民俗文化財に指定されています。</p>	<p>おしやまじんぐう てら た 忍山神宮をまもる寺として建て られたと伝えられる古い寺で、寺 にまつられる阿弥陀如来は1200 年くらい前につくられたもので、 国の重要文化財に指定されていま す。</p>	<p>とうかいどう り やく 東海道の1里（約4km）ごとに 目印としてつくられた塚で、三重 県内の東海道の一里塚ではただひ とつのこっているものです。国の 史跡に指定されています。</p>
<p>くすびら おちょう さとやま くす 楠平尾町にある里山で、楠 平尾町のみなさんが、むかした くさんさいていたササユリを 10年をかけて山によみがえら せました。毎年5月から6月ご ろが見ごろです。</p>	<p>みなみしょうがっこう かい 1982年に亀山南小学校の開 校にあわせて小学校のとなり につくられた公園です。南側の観 音山公園ととなりあっています。</p>	<p>みつでらちょう いしじんじや つた し し 三寺町の石神社に伝わる獅子 舞で、古くから行われていたと 伝えられます。3年に1度、正 月に舞われます。市の無形民俗 文化財に指定されています。</p>	<p>なかのしょうちょう じんじや 中庄町にある神社で、大きな クスノキがあります。クスノキ は市の天然記念物に指定されて います。</p>	<p>しものしょうちょう じんじや 下庄町にある神社で、1100 年ほど前に書かれた「延喜式」 という本にある「江神社」では ないかと言われています。</p>
<p>おのちょう しろあと せきし 小野町にあった城跡で、関氏 の有力なけらいであった小野氏 がいた城と伝えられます。現在 も小野町の東はしに城の土手や 堀がのこされています。</p>	<p>なが つづ いっほん 「なわて」とは、長く続く一本 道のことです。神辺小学校前 の鈴鹿川の堤防道は、むかしの東 海道で一番長いなわて道と言わ れています。</p>	<p>やましたちょう にし なが 山下町の西はしにある、長さ 35mの前方後円墳です。今から 1500年ほど前につくられたと 考えられています。</p>	<p>ふけちょう ふけこうたつだいじんじや つた 布気町の布気皇館大神社に伝 わる獅子舞で、古くから行われ ていたと伝えられます。 3年に1度、正月に舞われます。 市の無形民俗文化財に指定され ています。</p>	<p>い せ じんぐう ヤマトヒメが伊勢神宮をまつ る場所をさがしているときにし ばらくとどまっていた「鈴鹿小 山宮」のあとに建てられた神社 と伝えられます。ヤマトタケル のきさきであるオトタチバナヒ メが生まれた場所とも伝えられ ます。</p>
<p>たか ぜんたい 高さ290.8mあり、山全体 に大きな岩がたくさんありま す。岩の中に羽黒権現がまつ られていることから羽黒山と よばれます。「鈴鹿国定公園 の一部で、その記念切手は羽 黒山が描かれています。</p>	<p>ゆうりやく ぶ し 500年ほど前に、有力な武士 の関盛貞が別荘もかねて建てた 寺で、関盛貞が山荘に歌人をま ねいて歌会を開いたことが記録 に残っており、武士の文化を知 る貴重な遺跡として、国の史跡 に指定されています。</p>	<p>こうぼうだい し 815年に弘法大師が山の中 で修行をしていたところ、星 が急に輝いたので、その山を 明星ヶ岳とよんだと伝えられ ます。その山に開かれたお寺 が国分寺で、「虚空蔵さん」 とよばれて親しまれています。</p>	<p>ふけちょう ひがしめいはんじどうしゃ 布気町にある東名阪自動車 道のハイウェイオアシスで、 面積は14.2ヘクタールあり ます。今から300年くらい前 につくられた高塚池と、その まわりをかこむ丘がひとつと なった公園です。</p>	<p>こうぎょうだんち 1988年にできた工業団地で、 自動車部品や化学製品の工場が あります。この北がわはシャー ブ液晶工場とその関係工場があ る亀山関テクノビルズで2003 年に最初の工場が生産を開始し ています。</p>
<p>せいしき びーあんどじー 正式には、「亀山市関B&G 海洋センター」とよび、B&G 財団の補助を受けて整備され たのでこの名前があります。 温水プールや体育館、グラウ ンドをそなえた運動施設です。</p>	<p>せきしゆく にし いろぐち とうかいどう 関宿の西の入口で、東海道と 大和街道が分かるところなの で、西追分とよばれます。道が 分かるところに立つ大きな道 しるべは、今から300年ほど前 に立てられたものです。</p>	<p>ひがしのおいわけ にしのおいわけ 東追分から西追分までの1.8 kmにわたって、むかしからの 家が数多くたちならんでいます。 東海道五十三次の47番目の宿 場のすがたが今もよくのこされ ていることから、国の重要伝統 的建造物群保存地区にえらばれ ています。</p>	<p>せきしゆく ひがし いろぐち とうかいどう 関宿の東の入口で、東海道と 伊勢別街道が分かるところな ので、東追分とよばれます。伊 勢別街道に立つ大きな鳥居は、 伊勢神宮の一の鳥居で、20年 に1回、内宮の宇治橋南側の鳥 居を移して建てかえられていま す。</p>	<p>1200年くらい前につくられ た古代の関所で、岐阜県の不破 関、福井県の愛発関とあわせて 古代三関とよばれます。長らく どこにあるかわかっていません でしたが、2005年に観音山の ふもとで塀のあとがはじめてみ つかりました。</p>
<p>かぶとかし がさか し ぜんこうえん 加太櫓ヶ坂にある自然公園で、 正式には、「亀山市森林公園やま びこ」とよびます。遊歩道を散 策したり自然に親しんだりする ためのさまざまな行事などがお こなわれています。</p>	<p>かぶといち ぼ うしだにやま うえ 加太市場の牛谷山の上にある 城跡で、500年ほど前に鹿伏兎 氏がきずいたとされます。現在 も、石垣や井戸などがのこされ ており、むかしの城のようすが よくわかることから、三重県の 史跡に指定されています。</p>	<p>せきちょうえちがわ つ しげいのうちょう さかい 関町越川と津市芸濃町の境に そびえる山で高さ676mありま す。古くから雨ごいがおこなわ れる山として知られています。 むかしは雀頭山ともよばれまし た。</p>	<p>たいらのすけもり 今から850年前に、平資盛と いう武士が罪をおかして、久我 に流されることになりました。 資盛が都から持ってきた小さな 白い石がどんどん大きくなって 岩になったので、久我の人々は その岩を白石神社としてまつ たと伝えられます。</p>	<p>せきちょうかなば 関町金場の山の中にある古墳 で、1400年ほど前にきずかれ たとみられます。直径18mほ どの大きさがあり、石をつみあ げて部屋をつくり、そこになく なった人のひつぎをおさめてい ました。</p>

36

かぶと おど
加太のかんこ踊り

37

かわまたじんじゃ
川俣神社

38

かぶと ふどうだき
加太不動滝

39

ぶんかざい もり
ふるさと文化財の森

40

ふですてやま
筆捨山

41

すず かとうげし ぜん いえ
鈴鹿峠自然の家

42

さかしたしゆく
坂下宿

43

すず か ま ごうた
鈴鹿馬子唄

44

かたやまじんじゃ
片山神社

45

みつ ご やま
三子山

46

あんらくとうげ
安楽峠

47

すず か こくていこうえん
鈴鹿国定公園

48

せんが たけ
仙ヶ岳

49

や とう じ
野登寺

50

さかもとたなだ
坂本棚田

51

せきすいけい
石水溪

52

いけやま おどり
池山かんこ踊

53

あめびきやま
雨引山

54

がわ
さかさま川

55

おがわじょうせき
小川城跡

56

あなむし さと
穴虫の郷

57

ふ どういん
不動院

58

みねじょうせき
峯城跡

59

かわわのさかもとでんしょうち
川曲坂下伝承地

60

きたい せひこうじょうあと
北伊勢飛行場跡

61

やまとたけるのみことのぼのはか
日本武尊能褒野墓

62

パイロットファーム
(中の山パイロット茶園)

63

かわい おどり
川合かんこ踊

64

いじり こ ふん
井尻古墳

65

せきじょうじ
石上寺

66

ひがしのこうえん
東野公園

67

さとやまこうえん
里山公園

68

さんぼんまつ じ ぞう
三本松の地蔵

69

かめやましゆく
亀山宿

70

かめやまじょうせき
亀山城跡

<p>むかし、画家の狩野元信が旅の途中で東海道から見える山のように絵をかこうとしたところ、山のけしきがどんどん変わってゆくので絵をかくのをあきらめたのでこの山を筆捨山とよぶようになったと伝えられます。</p>	<p>ふるさと文化財の森とは、国宝や重要文化財などの建物を修理するときに使う木を育て、同時に木を育てる人の技術を学ぶために国が定めた森林です。亀山市には、関町坂下にふるさと文化財の森がもうけられています。</p>	<p>加太北在家にある高さが16mほどある滝で、近くに不動明王がまつられています。</p>	<p>むかしは加太川とアマノタ川が合流するところにあり、350年ほど前に今の場所に移ったと伝えられます。600年ほど前の川俣城跡とも伝えられます。境内の木々は加太地区の自然をよくしめすものとして、市の天然記念物に指定されています。</p>	<p>「たいこおどり」ともよび、加太市場・向井・板屋・北在家・申在家の5地区で8月にお盆の行事としておこなわれています。北在家のように「獅子」の面をつけるなど、むかしからのおどりのすがたをよくのこしているため、三重県の無形民俗文化財に指定されています。</p>
<p>ほぼ同じ高さの山が3つならんでみえることから、三子山とよばれます。まん中の山の高さは556mあります。片山神社はもともこの山にまつられていたといわれています。</p>	<p>鈴鹿峠のふもとにまつられている神社で、今から1100年ほど前にその名がみられます。鈴鹿権現ともよばれていたころもあります。東海道を行き来する旅人が安全を願ってこの神社におまいりをしました。</p>	<p>むかし馬のせなかににもつや人をのせ運ぶ人を「馬子」とよびました。馬子が馬をひいて鈴鹿峠をこえる時にうたった歌が鈴鹿馬子唄です。「坂はてるてる鈴鹿はくもる、あいの土山雨がふる」</p>	<p>東海道五十三次48番目の宿場で、鈴鹿峠をこえる旅人が数多くとまる宿としてにぎわいました。道路のはばをひろげる工事などでむかしの建物の多くはなくなりましたが、法安寺の玄関はむかしの松屋本陣の玄関をうつしたものです。</p>	<p>むかしの坂下小学校がなくなったので、その校舎を使ってキャンプや合宿などができる施設としたものです。校舎の建物は、1938年に建てられたもので、国の登録文化財になっています。同じ場所には天文台「童夢」もあります。隣には鈴鹿馬子倶楽部もあります。</p>
<p>野登山のふもとの斜面に440枚ほどの田がだんだんにならんでいます。これらの田は500年くらい前から400年ほどかけて少しずつひらかれたものです。「日本の棚田100選」に選ばれています。</p>	<p>910年に仙朝上人によって開かれたと伝えられます。雨ごと豊作を願う寺として、今でもたくさんの人々がおまいりにおとずれます。本尊の千手観音像はふだんみることはできませんが、高さ243cmあり亀山市内で一番大きな仏像です。</p>	<p>高さが961mあり、亀山市で一番高い山です。山のあちこちに大きな岩が見られ、古くから修行をおこなう場とされ、石の不動明王像がまつられた場所もあります。山の中には高さ100mの不動滝もあり、雨がふった後は遠くからも滝がみえます。</p>	<p>1968年に滋賀県から三重県北部の鈴鹿山脈に指定された国定公園で、亀山市の北部から西部にかけての山々はほとんど鈴鹿国定公園にふくまれています。ハイキングコースとして毎年多くの観光客が訪れています。</p>	<p>安坂山町池山から滋賀県甲賀市土山へぬける峠道です。鈴鹿峠よりも楽にこえられるので安楽峠ともよばれたといわれます。1583年に羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）がたくさんの兵をひきいてこの峠をこえて亀山城や峯城にせめこんでいます。</p>
<p>小川町一色の東はずれにある城跡で、小川図書館の城跡と伝えられます。高い土手に囲まれた古い時代の城のようすがよくわかります。</p>	<p>安楽川が丸く曲がって流れている場所で、その場所に立つと前と後ろで川の流れが逆に流れているように見えるので「さかさま川」とよばれます。</p>	<p>高さ413mあり、この山が霧などでかくれると雨がふると言われています。また、むかしはこの山の頂上で雨ごいをしたと伝えられます。</p>	<p>500年ほど前に野登寺で雨ごいをしたときにおどったのがはじまりと伝えられます。今も8月のお盆と10月の秋まつりのときにおこなわれています。むかしからのおどりのすがたをよくのこしているため、市の無形民俗文化財に指定されています。</p>	<p>安楽川の上流にあり、大きな岩のあいだをきれいな川が流れる眺めのよい場所として早くから観光地として知られていました。夏休みにはキャンプなどでたくさんの観光客が訪れています。</p>
<p>1941年に陸軍飛行学校としてつくられた飛行場の跡です。戦争が終わった後、飛行場・飛行学校はなくなり、そのあとには工場用地や畑、川崎小学校となっています。川崎小学校にある門は北伊勢陸軍飛行学校の正門、丸い池は飛行場の庭にあったものです。</p>	<p>672年におきた戦いで、大海人皇子がこのあたりを通ったときに休けいした場所のひとつが「川曲の坂下」です。このあとに小さなお堂を建てたのが一心院のはじまりとされ、一心院がある「堂坂」の地名もこのできごとによるものとされています。</p>	<p>峯城は、680年ほど前に、峯政実によってきずかれたと伝えられます。1583年に羽柴秀吉によって攻められ、そのようすは、日本にきていたルイス・フロイスによってヨーロッパの人々に紹介されています。三重県の史跡に指定されています。</p>	<p>正しくは「辺法寺不動院」といい、1187年の記録では寺のある場所のあたりを辺法寺と呼んでいます。1583年に羽柴秀吉が攻めてきたとき、秀吉は不動院の不動明王をこわして、橋板にして川を渡ったと伝えられ、その橋板は今も不動院に残されています。</p>	<p>辺法寺にある公園で、季節ごとにアジサイやハスの花が楽しめるように地域のみなさんが協力してつくりました。穴虫とは公園がある場所の古いよび方です。</p>
<p>796年に夢のお告げを受けた紀真龍が熊野三社をうつし、その神社をまもるために建てられたのが石上寺です。800年から500年ほど前の古文書21通が残り、三重県の文化財に指定されています。</p>	<p>長さ54mの前方後円墳で、今から1500年ほど前につくられたとみられます。まわりに建物などがないたため古墳の形がよくわかります。</p>	<p>今から700年くらい前に雨ごいのためにはじめられたと伝えられ、現在でも毎年10月に地区内で踊ります。椿世から田村をへて川合に踊りが伝えられたといわれています。市の無形民俗文化財に指定されています。</p>	<p>亀山茶をつくる農場として1983年に完成しました。広さは89ヘクタールもあり、三重県最大の茶園です。「パイロット」とは、土地に適した作物を広い面積にうえて作物生産の中心となるように、他にさきがけて取り組むという意味です。</p>	<p>長さ90mの前方後円墳で、三重県の北部最大の古墳で、1600年くらい前につくられたとみられます。もとは「丁子塚」とよばれていましたが、1879年に「ヤマトタケル」の墓と決められました。</p>
<p>今から400年ほど前に岡本良勝がきずいた城です。高い石垣の上にある多門櫓が今も残っています。三重県の史跡に指定されています。</p>	<p>東海道五十三次46番目の宿場です。今の本町4丁目から市ヶ坂町までの約2kmに町家が建ちならんでいました。亀山城をさけて道がおれまがっているのが特ちょうです。</p>	<p>浄源寺にある銅でつくられた地蔵像で、高さは196.5cmあります。1898年にたくさんの人たちからきふを集めてつくられました。毎年8月に地蔵祭りがおこなわれます。</p>	<p>椿世町、北町、栄町にまたがる広さ約3.5ヘクタールの公園で、使われなくなった田んぼを整備して、生き物の観察をしたり散策をしたりすることで豊かな自然に親しむことができます。</p>	<p>運動をたのしみながら健康づくりができる公園として、1994年に完成しました。広さは6.9ヘクタールあり、体育館やソフトボール場などがあります。</p>